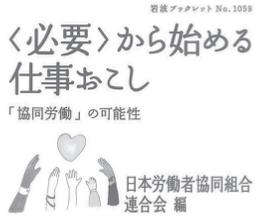


受けただけ という「格闘」



地域や暮らしに必要な仕事は自分たちでつくる! 日本社会を足元から変える新しい働き方「協同労働」とは

岩波ブックレット第2回読者会 (上)

岩波ブックレット「必要」から始める仕事おこし『協同労働』の可能性(労働連編)の登場人物たちと語り合う「読者会」2回目を、日本労働新聞主催で8月31日にオンラインで開催しました。コーディネーターはブックレット筆者でもある松沢常夫労働新聞前編集長。

「仲間」に反対され、どうなりましたか?

松沢 労働法では「意見反映」が重視されています。ブックレットでも現場の実践を紹介する第3章の最初に『みんなで話し合う』という格闘」という文

イトルを掲げ、深谷と浦安を取り上げました。これは全ての事業所、現場に共通するテーマであり、「みんなで話し合う」ということは、主権者、主体者

に高まり合っていく営みに他ならないと思います。今日は、何かをやるうとして、仲間から反対された経験を持つ皆さんと一緒に、このテーマを深め合いたいと思います。

この経験から、何かやりたいと思ったら、「リーダーとして引張ってあげよう」と思ったのですが、そうはいきませんでした。3年くらいすると、みんな、私が「やりた

い」と思うことに耳を傾けてくれなくなり、柄にもなく、すごく落ち込んで、ワーカースやめちゃうかなと思ったりもしました。

浦安・明海学童 寄り道カフェ

「やってみなぎやわからない」で進んだが

松沢 まず、浦安の橋高さん。「友達ができないし、悩みを打ち明ける場所もない」という保護者の悩みを聞いて、明海学童で「寄り道カフェ」をやる

と提案すると、スタッフに反対されますね。柄にもなく落ち込んで「労働協約めようか」

橋高 ええ。保護者1人の悩みごとのためにしたが、学童クラブに保護者がお迎えに来た時、保育室に入って交流する「寄り道カフェ」をしたと話したんです。2015年10月のことです。

委託の現場で、外部の人(保護者)を学童の中に連れて、お茶を飲みながらワイワイしていることがバレたら委託を外される。他の現場にも迷惑がかかる

でも、その頃は仲間が増えて7、8人になつており、3人が異動して、初期メンバーは私ともう1人しかいませんでした。



橋高さん

発言者

- 橋高由美さん 千葉・浦安地域福祉
- 松崎愛さん 北海道・苫小牧ほっけ地域福祉
- 村崎忍さん ワーカーズコープ山口
- 岡元かつ子さん セター事業団相談役(埼玉・深谷)
- 金山ふみさん 福岡・大野城
- 松沢常夫さん 労働新聞前編集長

この時は、保護者の方々から「大切でいいことだ、ぜひ続けたい」という意見をいただいて、市も納得して

ただ、当時の所長が「市には言うてあるから」と言うので安心してたんですけど、言っ

松沢 苫小牧の放課後等デイサービス現場の責任者をしていた松崎さんは、「地域の課題を知るために100人

松崎さん 最初は5人の現場で、ほんとに1つひとつ全員で話し合ってたんですよ、と、あんなに話して決めた話があるんですよ、と、あんなに話して決めた話があるんですよ、と、あんなに話して決めた話があるんですよ、と

松崎 私、国政調査のアルバイトをしたことがあるんです。知らない方のおうちを1軒1軒訪ねる。なんでこんなバイトしちゃったんだらうと思いつつ、いろいろ話をしてくださる方もいて、楽しかった思い出があったんです。

松崎 私、国政調査のアルバイトをしたことがあるんです。知らない方のおうちを1軒1軒訪ねる。なんでこんなバイトしちゃったんだらうと思いつつ、いろいろ話をしてくださる方もいて、楽しかった思い出があったんです。

松崎 私、国政調査のアルバイトをしたことがあるんです。知らない方のおうちを1軒1軒訪ねる。なんでこんなバイトしちゃったんだらうと思いつつ、いろいろ話をしてくださる方もいて、楽しかった思い出があったんです。

「とりあえず私一人で」と言う「じゃ手伝う」

孤独死相次ぐ団地で「どうせなら全戸に」

松崎 放デイほっけは2013年に地域の人たちと一緒に、高層

松崎 私、国政調査のアルバイトをしたことがあるんです。知らない方のおうちを1軒1軒訪ねる。なんでこんなバイトしちゃったんだらうと思いつつ、いろいろ話をしてくださる方もいて、楽しかった思い出があったんです。

松崎 私、国政調査のアルバイトをしたことがあるんです。知らない方のおうちを1軒1軒訪ねる。なんでこんなバイトしちゃったんだらうと思いつつ、いろいろ話をしてくださる方もいて、楽しかった思い出があったんです。



松崎さん

松崎さん 最初は5人の現場で、ほんとに1つひとつ全員で話し合ってたんですよ、と、あんなに話して決めた話があるんですよ、と、あんなに話して決めた話があるんですよ、と

松崎 私、国政調査のアルバイトをしたことがあるんです。知らない方のおうちを1軒1軒訪ねる。なんでこんなバイトしちゃったんだらうと思いつつ、いろいろ話をしてくださる方もいて、楽しかった思い出があったんです。

松崎 私、国政調査のアルバイトをしたことがあるんです。知らない方のおうちを1軒1軒訪ねる。なんでこんなバイトしちゃったんだらうと思いつつ、いろいろ話をしてくださる方もいて、楽しかった思い出があったんです。

松崎 私、国政調査のアルバイトをしたことがあるんです。知らない方のおうちを1軒1軒訪ねる。なんでこんなバイトしちゃったんだらうと思いつつ、いろいろ話をしてくださる方もいて、楽しかった思い出があったんです。

すごい「反対」

「みんなで話し合う」

ワーカーズコープ山口 みんなで作って食べる田んぼ 「売らずに食ってしまえ」に「面白そう」

松沢 ではワーカーズコープ山口の村崎さん。「みんなで作ってみんなで食べる田んぼ」の取り組みですが、最初は収益が見込めないといわれて、反対されますね。

14年経ち50人の組合員全員に1年分の米

村崎 我々は米を作るんじゃないって田んぼを作る、環境と合わせて作っていいこうと決めて、2009年に始めました。

当時、組合員は30人くらいで、清掃現場が7カ所あり、指定管理者の仕事も増え、バラバラだったのが、理事長の末永一博が、何か共通の話題になることを考え、全組合員集



村崎さん

福岡・大野城 居場所ほつとのたね

「辞める」「辞める」「辞める」の嵐

松沢 ブックレットでは紹介していないのですが、今日は、大野城の金山所長にも声をかけました。

保護者の思いと組合員の生活の一致点か

先日まで九州沖縄事業本部の事務局長をしていて、今は関西の本部長を務める高橋弘幸さんが「金山さんは1年近く反対を受けながら、諦めずに一人ひと



金山さん

たお米はすごく美味しかった。2年目になったら、あのつらい思いをもう1回するのだから、参加が少なくなってきただけ、指定管理者をしている「憩いの家」で、このお米を

埼玉・深谷 とうふ工房

「やれるところからやってみたら」が胸にストン

松沢 深谷でも、とうふ工房を立ち上げる議論の中で、みんな黙ってしまふ、という場面がありました。

みんな黙ってしまふ、「いったん白紙に」

岡元 その前に、山口の話聞いて…大変な日です。私も今日、朝8時から3時半まで、田んぼの草取りをしてきました。汗びっしょり。今、大豆を1町3反、米4反作っ



岡元さん

このまま終わりにしない、バラバラになりたくない、という組合員の声もあり、自分たちで決めて、とうふ工房を立ち上げようとした。自分たちで起

立ち上げに800万円かかるかわかり、自分たちも出資をし、地域の人も出資を呼びかけ、みんな前向きで盛り上がったんです。

突然何にも言わない会議になったんです。いつも賑やかなのに、みんな黙ってる。どうしたの。今日ちょっと変わったの。今日ちょっと変わったの。今日ちょっと変わったの。

と、自分たちの生活を守るということが交差した一致点が見えたんです。

不安だったみんなも、「普通のおばさんたちが仕事を起こせた」ってことが自信になって、地域のいろんな課題に挑戦し、ヘルパー講座を開き、受講した人たちがヘルパーとして活躍を立ち上げ、2000年の介護保険制度に向かっています。